



PRESS RELEASE
報道関係 各位

2024年4月30日
公益財団法人日本パラスポーツ協会
日本パラリンピック委員会

国際パラリンピック委員会公認教材『I'mPOSSIBLE(アイムポッシブル)』日本版
小中学校4校の活用事例をWEB上で公開
— 共生社会の実現に向けて、アニメーション教材の活用で広がる新たな学び—

この度、国際パラリンピック委員会(IPC)公認教材『I'mPOSSIBLE』日本版の公式サイトにて、最新のアニメーション教材を取り入れた授業の実践事例を公開しました。今回、公開した4校の『活用事例』では、アニメーション教材を使った授業の様子を「導入～展開～まとめ」の流れに沿って、写真や動画コンテンツを交えて紹介しています。また、各校におけるICT活用法や工夫点など、本教材の利用を検討される先生方に参考いただける内容となっています。

アニメーション教材を活用した4校の事例を公開

教育現場のICT化の流れに合わせたデジタルコンテンツ対応を進める中で、『I'mPOSSIBLE』日本版初となるアニメーション教材を3月にリリースしました。小学生版「パラリンピアンが学校に来るとしたら(香西宏昭選手編)」を活用した3校、中学生・高校生版「パラリンピアンの日常生活からバリアフリーを考える(香西宏昭選手編)」を活用した1校が、共生社会の実現に向け「気づき、考え、行動を起こす力」を育む学びに取り組んだ授業の事例を公開します。



◆特徴

アニメーション教材のメリットを生かしたファシリテーターとしての先生の役割や、生徒たちのグループディスカッションの様子を見ていただけます。「共生社会の実現に向けた気づきを促すために、先生がどのような声掛けをしているのか」「子どもたちは何を考え、どのような話し合いをし、それが、どう変化や行動につながっていったのか」といった授業のプロセスを通して、本教材を用いた授業計画を立てる際のヒントとなるエッセンスが詰まっています。

『I'mPOSSIBLE』日本版公式サイト <https://iam-possible.online>



<本件に関するお問合せ先>
(公財)日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会 企画広報部 黒田・屋敷
E-mail: jpcjpsa-media@parasports.or.jp

JPC OFFICIAL SPONSORS

